

保育理念	・子どもの最善の利益を第一とし、望ましい未来をつくり出す力の基礎をやしなう。 ・地域や家庭との連携の下に、子どもの状況や発達をふまえ、保育園の環境を通して養護及び教育を一体的に行う。					
保育方針	・一人ひとりの子どもの最善の利益を目指し、全職員が専門性を持って総合的に保育にあたる。 ・保育園の保護者、地域の子育て家庭を、関係機関と連携をとりながら見守り、支える。		保育目標	・健康であかるく たくましい子ども ・愛情ゆたかな子ども ・考えて工夫できる子ども		
保育所の社会的責任	人権尊重	地域交流と説明責任		個人情報の保護と苦情解決		
	・保育が子どもの人権を守るために法的、制度的に裏付けられていることを理解する。 ・子どもの発達や個人差等にも留意し一人ひとりの人格を尊重する。 ・国籍や文化の違いを認め合う。	・地域に開かれた社会資源としての保育園の役割を認識する。(世代間交流、異年齢交流、健康講座等を積極的に行う) ・保育の方針や内容等を、利用者へ分かりやすく応答的にできるように情報提供を行う。(ホームページ、回覧板、行事での伝達、アンケートなどを用いる)		・保育にあたり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由なく漏らさない。 ・苦情解決については、中立公正な第三者委員の体制を整え苦情解決のしくみ、第三者委員氏名を掲示する。 ・苦情に対しては、謙虚に誠実に対応する。		
発達過程とクラスの相関性			地域の実態に対応した事業			
・3つの年齢クラスを基本に活動するが、保育指針の8つの発達区分の発達過程(登園では5つの発達過程)と子ども一人ひとりの成長を重ね合わせ、個人差が大きいことに留意しながら保育を展開していく。 ・子どもの命を守り情緒の安定を図りつつ乳幼児時期にふさわしい経験が積み重ねられるよう養護と教育を一体的に展開する。			・新発田市の中心に位置し利便性もよい。地域のニーズにより延長保育を行っているが、生活スタイルが多岐にわたり子育ての悩みも多い。 (子育てサークル、育児講座、電話や来園での育児相談、保育体験などを積極的に行う)			
保育時間	7時から18時 *延長保育利用で19時まで利用可能		主な園の行事	誕生会、園外保育、プール開き、遠足、クリスマス会、ひな祭り、豆まき等		
子どもの保育目標	6か月未満	6か月から1歳3か月	1歳3か月から2歳未満	2歳児	3歳児	
	・愛情豊かな特定の保育士との応答的な関わりにより信頼感が芽生える。	・安心できる保育士との関係の下で、周囲の人や物に興味を示し自分から働きかける。	・行動範囲が広がり、見たり触れたり自分ですりよとする気持ちが芽生える。	・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・話をしたり、自分の欲求を表す。	・身の回りのことを手助けを受けながら自分でする。 ・模倣したり、ごっこ遊びを楽しむ。	
養護	生命の保持	・食欲、睡眠、排泄等の生理的欲求を満し、保育士の受容的な関わりにより気持ちよく過ごす。家族との連絡を密に取りながら健康状況を細かく観察し疾病や異常に適切に対応する。		・歩行の発達により行動範囲が広がる。安心できる保育士等のもとで食事、排泄等を自分でしようとする。基本的な運動機能が発達し、探索活動が盛んになる。		
	情緒の安定	・温かい触れ合いや語りかけにより、安心して過ごせるようにする。継続性のある応答的な関わりで情緒的な絆が形成されるようにする。		・友達や周囲への関心が高まり、けんかも多くなるがお互いの存在に気付く。	・保育士の共感や自我の受け止めにより自信を持つ。 ・保育士との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表すことができる。	
教育	健康	・特定の保育士との関わりで、授乳、排泄、睡眠のリズムが整い、機嫌よく過ごす。	・好奇心が旺盛になり、座る、這う、立つ、伝い歩きなど、自由に移動する。	・歩行により行動範囲が広がり、見たり触れたりして自分でやってみようとする。	・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。	
	人間関係	・特定の保育士に受止めてもらったり応答してもらったりすることで信頼感が芽生える。	・身近な人の顔がわかり、あやしてもらおうこと喜ぶ。人見知りをするが、特定の大人との愛着関係が育つ。	・友達や周囲の人への興味や関心が高まり関わって遊ぶことを楽しむ。	・保育士を仲立ちとして簡単なごっこ遊びを楽しむ。	
	環境	・安心できる人的、物的環境の下で、見たり聞いたり触れたりしながら、取り巻く環境を認知し始める。	・周囲に興味を示し自分から関わろうとする。	・好きな玩具、草花や昆虫等の自然物に興味を示し、楽しんで遊ぶ。	・回りの事物や自然に触れ、興味や好奇心を持つ。	・様々な事象に親しみ身近な生活を模倣したりしながらごっこ遊びを楽しむ。
	言葉	・保育士等の声や眼差しやスキンシップを通して、喃語が育まれる。あやされて笑う。	・優しく語りかけられることにより、喜んで声出したり、指差し身振りなどで伝えようとする。	・片言や一語文、指差し身振りなどで自分の気持ちを表そうとする。	・保育士を仲立ちとして簡単な言葉のやり取りをする。	・絵本、物語、視聴覚教材などを見たり聞いたりしてその内容や面白さを楽しむ。
	表現	・応答的な関わりの中で笑う、泣くという表情の変化や体の動きなどで自分の欲求を表す。	・特定の大人との愛着関係が深まり、自分の意思や欲求を喃語や身振りなどで伝えようとする。	・体を使って遊びながら様々な場面や物へのイメージを膨らませ遊具などで見立てて遊ぶ。	・友達や保育士と模倣したり、経験を表現する。	・自己表現が豊かになり感じたことや思ったことを描いたり、歌ったり、身体を動かして表現する。
食育	食を営む基礎	・空腹感を感じ、お腹がすいたというリズムを持つ。愛情のある心地よい生活を送る。	・離乳を進め、様々な食品に触れ楽しい雰囲気の中で食べさせてもらう喜びを知る。	・楽しい雰囲気の中で保育士の言葉かけにより一人で食べようとする気持ちを持つ。	・友達と一緒にいろいろな種類の食物や料理を味わう。 ・友達と一緒にいろいろな種類の食物や料理を味わう。	
健康支援及び安全		・健康状態、発育発達状態の定期的継続的な把握 ・年間保育計画の立案 ・各種健康診断計画の立案 ・感染症、与薬等の対応 ・事故防止マニュアルの作成 ・安全に関するマニュアルの作成				
保護者 地域に対する支援		・日々の保育の中での育児相談の実施 ・地域の育児相談の実施 ・育児講座の開催 ・健康講座の開催				
職員の資質向上への取り組み		・保育園の自己評価 ・保育士の自己評価 ・第三者評価 ・職員全員での検討 ・自己評価の定期的な検討会 ・ケース検討会議				
研修計画		・園内外研修 ・見学研修 ・公私立保育園職員交流等 ・保育指針に沿った保育の実践研修				
小学校、保育所等との連携		・小学生、三歳以上児の保育園訪問、交流 ・小学校、保育所等の見学				